

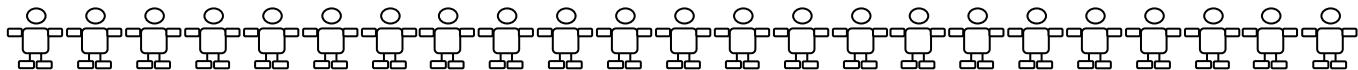
発行：2020年 第1号 9月1日(火)

三国中校区「なかよし地域ネット」通信

発行者：三国中校区「なかよし地域ネット」人権のまちづくり推進連絡会

会長 白木 博昭 / (文責) 事務局長 楠 良司

連絡先： 小郡市教育委員会 人権・同和教育課 電話 72-2111 内線533



8月6日、平和学習に取り組みました！

今から75年前、1945年8月6日の8時15分、ヒロシマに原爆が投下されました。また、8月9日の11時2分にはナガサキに原爆が投下されました。原爆投下によって、一瞬のうちにたくさんの人の命が奪われました。また、投下後に放射能等の影響で苦しみながら亡くなった方もおられました。現在も、後遺症に苦しんでいる方もおられます。

三国中校区の小中学校（三国小学校・のぞみが丘小学校・三国中学校）では、8月6日に平和学習が行われました。毎年、各学校では、この日を大切な日であるとして、夏休み中である8月6日の出校日に平和学習を行っています。（今年は、夏休みが8月7日からになりましたので、夏休み前の最後の日でした。）

各小中学校では、それぞれの学年にあわせた内容で、戦争や原爆（核兵器）の恐ろしさ、平和の尊さについて学習をしていきました。このような学習を通して、「わたしも、あなたも、平和をつくる一人」であるということを感じていきました。

戦争が終わり、75年が経過し、戦争や原爆を体験した方が少なくなってきました。戦争を二度と繰り返さないためにも、これまでの学びを生かし、わたしたち大人は戦争の恐ろしさ、平和の尊さを子どもたちに伝えていかなければならないのではないのでしょうか。



すべての子どもたちの教育条件に関する署名について

小郡市では、部落差別によって十分な教育を受けることができなかった被差別部落の親たちの「せめてわが子には十分な教育を受けさせたい」「わが子をはじめすべての子どもにいきとどいた豊かな教育を受けさせたい」という思いを受け、「加配」要求などの教育条件整備が始まりました。「奨学金制度のさらなる改善と拡充」「教職員等の配置充実」「学び場支援事業をはじめとする社会教育制度の充実」等を求め、毎年、市内では約3万名、三国中校区でも1万名を超える署名をいただいています。その成果として、三国中校区でも教職員の配置が充実されており、子どもたち一人ひとり進路・学力保障をめざした授業の改善、個別指導、教育相談、家庭訪問などに活用されています。



しかしながら、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、保護者や地域のみなさんへの感染リスク回避のため、保護者が各家庭を回って署名集約することを中止としました。そこで、今年度に限り、これまでの活動を継承し、趣旨に賛同していただける組織・代表者名による団体署名に取り組みます。次年度以降も、すべての子どもたちの教育条件に関する署名活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。